



平成29年8月14日

各 位

会社名 株式会社 チェンジ  
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 福留 大士  
(コード番号：3962 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役兼執行役員CFO 山田 裕  
(TEL. 03-6435-7340)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月17日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成29年9月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,900	百万円 262	百万円 256	百万円 171	円 銭 53.73
今回修正予想(B)	1,980	331	325	218	68.09
増減額(B-A)	80	69	69	47	
増減率(%)	4.2	26.3	27.0	27.5	
(ご参考)前期実績 (平成28年9月期)	1,550	186	175	118	42.16

2. 修正の理由

当社は、「Change People、Change Business、Change Japan」をコーポレートミッションに、モビリティ、IoT (Internet of Things :モノのインターネット)、ビッグデータ、クラウド、

セキュリティ、ロボティクス、AI（Artificial Intelligence:人工知能）などの新しいテクノロジーを活用したサービス及びIT人材育成サービスを「NEW-IT トランスフォーメーション事業」として展開し、日本企業の業務オペレーションやビジネスモデルに変革をもたらし、生産性と付加価値を向上させるべくビジネスを推進しております。

平成29年9月期におきましては、AR（Augmented Reality：拡張現実）を用いた現場教育アプリケーションの開発、大手企業や政府官公庁における働き方改革を支えるモバイルセキュリティプラットフォームの販売、地方創生を目的とした自治体向けビッグデータの活用支援、労働人口の減少を見据えたロボティクスインテグレーション等の新たな案件受注が当初想定より伸長し、売上高が増加する見込みです。また、AIを用いた業務プロセスの自動化・省力化、IoTを活用した新たなビジネスモデル構築、第四次産業革命を支えるデータサイエンティストの育成などの引き合いも前年度に引き続き好調を維持しております。

更に、競争不在による粗利益の増加、徹底したコスト管理による内部管理費の抑制により、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても増加する見込みです。

なお、本日発表の当社第3四半期決算においても、引き続き好調を維持し、当初の目標を大幅に超過することができました。平成29年9月期の当社第4四半期（平成29年7月1日～平成29年9月30日）におきましては、今回修正した業績予想を確実に達成するとともに、来期以降の飛躍的な成長の準備期間と位置づけ、成長に大きく寄与すると判断されるプロジェクトへの注力、優秀な人材の採用を進めて参ります。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以 上